

天竜川を次世代に引き継ぐ 「天竜川ゆめ会議」

長野県駒ヶ根市

特定非営利活動法人 天竜川ゆめ会議

手づくり郷土賞について

講評

一般部門

大賞部門

資料集

天竜川は諏訪湖に源を発し、伊那谷を南北に貫く日本屈指の急流河川です。古来より幾多の災害をもたらし、「あばれ天竜」という異名をもつように人々から恐れられ、水害との戦いを余儀なくされてきました。しかし、天竜川は流域の人々に自然の恵みを与え、実りをもたらし、固有の文化を育む土壌を与え、伊那谷に住む人々にとって郷土の誇りであり、母なる川です。

天竜川河川整備計画の策定に先立ち、地域住民と河川管理者により「天竜川ゆめ会議」が平成12年に設置され、①流域住民の意識、②環境、③利用、④治水の4つの柱からなる、天竜川の未来像を描き出した『天竜川みらい計画』が平成14年3月に決定されました。

その後、平成14年7月からは市民団体としての活動を開始し、平成18年には「特定非営利活動法人 天竜川ゆめ会議」としてNPO法人の認証を受けて、天竜川みらい計画の実現に向け、天竜川の景観や環境を、自信と責任を持って次世代に引き継ぐための活動を続けています。

天竜川ゆめ会議では、設立以来実施している外来種の駆除等の環境保全対策、シンポジウム等の講習会には毎年数百人が参加しています。また、下流域の環境問題を学習するための「遠州灘アカウミガメ放流ツアー」には毎年約70名の親子が参加する等、活動が地域に広がっています。

また、水防協力団体として広報活動をする等、全国でも先駆的な活動をしています。特に、多自然川づくり研修会等の勉強会には地域の小中学生から高齢者まで幅広く参加し、様々な視点から、より「いい川」にするため、行政への提言を行っています。

外来種アレチウリの駆除では、実施会場に隣接する地元自治会、中学校生徒会などに出前講座を実施したことから、地元市町村、自治会、中学校生徒会・PTAなどが参加するようになり、さらに統一行動日に合わせて、地元住民が自主的に開催する会場が増加しています。



有害帰化植物アセチウリ駆除



有害帰化植物ニセアカシア駆除



遠州灘アカウミガメツアー



天竜川みらい計画のその後の座談会



流域の仲間たちのフォーラム



多自然川づくり研修会

- ◆所在地
長野県岡谷市地内釜口水門～長野県天龍村地内
- ◆活動内容
外来種駆除活動（年2回）、メールマガジン発行（年40回）、アカウミガメ放流ツアー（年1回）、川に関するシンポジウム・勉強会（随時）、多自然川づくり研修会、水防協力団体として広報活動を実施 など
- ◆活動主体及び連絡先
特定非営利活動法人 天竜川ゆめ会議（0265-83-7744）
※代表理事：福澤 浩
- ◆対象となる社会資本
一級河川天竜川
※管理者：国土交通省天竜川上流河川事務所（代表：0265-81-6411）

